

# 地球温暖化対策の推進

【環境政策課】

## 1 目 的

平成18年度に策定した「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、市民・事業者・市が一体となって「資源やエネルギーを大切にした、二酸化炭素の排出が少ないまち」を目指す。

## 2 計画の概要（計画の詳細は別紙参照）

- ・ 計画年次…平成19年度から平成24年度
- ・ 目標値 …平成24年度における温室効果ガス排出量を現況年度に比べて、市民1人または1事業者あたりでそれぞれ17%削減する。（温室効果ガス総排出量として、基準年度比0.5%の削減を目指す。）
- ・ 目標達成に向けた市の施策…
  - 1 環境にやさしいライフスタイルの推進
  - 2 環境に配慮したビジネススタイルの推進
  - 3 二酸化炭素の排出が少ないまちづくりの推進
  - 4 地球温暖化防止のための横断的な対策の推進
- ・ 主な事業…廃食用油資源化事業、市有施設への省エネ診断の実施、住宅用太陽光発電システムの導入推進 など

## ◆廃食用油資源化モデル事業

【ごみ減量課】

## 1 目 的

軽油の代替燃料として、バイオディーゼル燃料の利活用を推進することで、CO2を削減し、併せて市民に見える形で廃食用油をリサイクルすることで、資源循環型社会形成のための意識啓発に取り組む。

## 2 概 要

廃食用油燃料製造装置を導入し、一般家庭及び市内小中学校施設より排出される廃食用油をバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルし、公用塵芥車の軽油代替燃料として使用する。

廃食用油の回収及びBDFの製造は、福祉作業所等に作業委託する。（別紙資料参照）

- ・ 事業実施主体：宇都宮市
- ・ 施設規模・内容：廃食用油燃料製造装置の導入  
事業量：1基  
製造能力：日処理量 115ℓ/7h  
BDF製造場所：南清掃センター
- ・ 事業規模：16,700ℓ/年（BDF生産予定量）  
：19,200ℓ/年（廃食用油予定回収量）
- ・ その他  
BDF利用方法：市有ゴミ収集車（6台分）  
回収拠点：スーパー等の回収協力店  
学校回収：小中学校（モデル指定12校）

### 3 スケジュール

- |         |                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 19年4～5月 | 福祉作業所への事業説明，組織化の依頼<br>補助事業（NEDO 補助事業）申請<br>小中学校・スーパー等への協力依頼への廃食用油の提供依頼<br>スーパー等への拠点回収協力依頼 |
| 6月      | 福祉団体等の組織化<br>PR資料の作成，説明，配布                                                                |
| 8月～     | 導入機器の選定，導入                                                                                |
| 10月～    | 試験製造開始<br>（作業員の訓練，試験回収・製造・利用）                                                             |
| 12月～    | 本稼動                                                                                       |

## ◆市有施設の省エネ診断実施

【環境政策課】

### 1 目的

「地球温暖化対策の推進に関する法律」では，市の事務事業における温室効果ガス排出抑制が求められていることから，「市内環境配慮行動計画」を策定し，職員の環境配慮行動により温室効果ガス排出抑制等に努めてきたが，更なる温室効果ガス排出抑制を行うため，ESCO事業※や省エネルギー改修について，その導入可能性を検討するもの

※ ESCO事業（エスコと読む。Energy Service Companyの略）…建物の省エネルギーに関する包括的なサービスを民間事業者が提供する事業。それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し，さらにはその結果得られる省エネルギー効果を事業者が保証する。

## 2 概 要

市有施設（ＥＳＣＯ事業導入予定の本庁舎を除く）について、過去のエネルギー使用量や導入されている設備機器などから今後の省エネルギー効果を推計してＥＳＣＯ事業や省エネルギー改修の導入可能性を検討し、「省エネルギー推進プラン」を策定する。

なお、この事業は「新エネルギー・産業技術総合開発機構（ＮＥＤＯ）」の補助事業を活用して実施する。

## 3 スケジュール

|       |     |                           |
|-------|-----|---------------------------|
| 平成１９年 | ４月  | 調査対象施設のエネルギー使用量や建築年数の把握   |
|       | ５月  | 実施計画書の提出、個別ヒアリングの実施（ＮＥＤＯ） |
|       | ６月  | 交付決定                      |
|       | ７月～ | 省エネルギー診断調査実施              |
|       | ２月  | 「省エネルギー推進プラン」の策定          |
|       | ３月  | 実績報告（ＮＥＤＯ）                |

## ◆住宅用太陽光発電システム導入推進

【環境政策課】

### 1 目 的

地球温暖化対策やエネルギーの安定供給のため、住宅用太陽光発電システムの設置を希望する市民等に、その設置費の一部を補助し、市域全体へ環境負荷の少ないクリーンエネルギーの更なる普及・促進を図ることを目的とする。

## 2 概 要

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助（４万円／ｋＷ ※但し上限４ｋＷ）

### 【補助実績】

平成１５年度：１１５件  
平成１６年度：１６０件  
平成１７年度：１７４件  
平成１８年度：２４０件

## 3 スケジュール

### 【申請期間】

平成１９年４月２日（月）～平成２０年３月３１日（月）まで